

地区だより

…………… 令和5年7月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,857人 女 20,355人
計 39,212人
世帯数：20,910世帯
(6月1日現在)



市からのお知らせ

【編集発行】

福島市役所広聴広報課
〒960-8601 福島市五老内町3-1
☎525-3710 ㊟536-9828

令和5年度市衛生事業功労者等表彰式

5月26日、とうほう・みんなの文化センターにおいて、衛生事業功労者等表彰式を開催し、地域の衛生事業の推進に尽力された個人、団体の功績を称え表彰いたしました。

中央地区から受賞された皆さま、誠におめでとうございます。

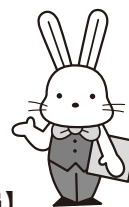
■問/環境課 ☎525-3742



▲受賞された皆さま

■市長表彰【優良衛生組合員】

あんざい ひろし
安齋 裕 様(上浜町会)
さとう かずえ
佐藤 和江 様(上浜町会)



■市衛生団体連合会会長表彰【優良衛生組合員】

むらかみ ちか
村上 千佳 様(柳町御倉町町会)

令和4年度 健康づくりで競争(共創)チャレンジ結果発表 中央東地区：2位、中央西地区：7位(全18地区中)

市内18地区ごとに「ふくしま健民アプリ」の活用状況を競い合い、その結果(順位)に応じて地区独自のまちづくりに活用できる資金が「ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会」とおして対象地区に交付されました。

(交付額 中央東：120,000円、中央西：50,000円)

■問/地域共創課 ☎525-3731

令和5年度もチャレンジ実施中！(令和6年1月末まで)

ポイントを貯めて、協力店でお得に活用できます。この機会に是非ご参加ください！！

チャレンジへの参加方法

STEP1：「ふくしま健民アプリ」をダウンロード！

STEP2：アプリ内の「お知らせ」からお住まいの地区登録

効率よくポイントを貯めるコツ

歩数による獲得ポイントは1日最大80ポイント！アプリの機能を使って効率よくポイントを貯めよう！

獲得ポイントの目安	アプリ起動ガチャ	5 or 10 or 20ポイント(1日1回)
	自己健康チェックポイント(毎日チェック)	15ポイント(1日1回)
	歩数による獲得ポイント	80ポイント(1日最大) ※1日最大8,000歩がポイント対象
	バーチャルコースによる獲得ポイント	1コースクリアすると100 or 200ポイント
	動画エクササイズによる獲得ポイント	1曲クリアすると5~15ポイント
	スタンプラリーによる獲得ポイント	1コースクリアすると50 or 200ポイント



▲詳しくは市ホームページをご覧ください。

その他に市民検診などのミッションに挑戦し達成すると追加ポイントを獲得できます。

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ㊚533-7592

親子の広場

今年度も、夏休み中に2回開催します。内容は、「科学工作(1回)」、「星空観察(1回)」です。
2回連続で申し込んでも、1回のみ参加でも受け付けます。

- ◇対象者：中央地区内の小学校1年から3年までの児童とその保護者
- ◇定員：科学工作 15組(1組は、保護者1名と児童は兄弟でも参加可能です。)
星空観察 15組(1組は、児童1名、保護者1名の2名となります。)
※星空観察は市のバス2台で移動します。



開催日時と内容

	開催日時	内容・講師	場所
I	7月29日(土) 午前10時～12時	科学工作 【昨年度の内容】ポンポンこま作り、プラコップ飛ばし、 空気の実験など 今年度は何かな? 講師：元三河台小学校校長 荒木 藤夫 先生	中央学習センター 2階ホール
II	8月2日(水) 午後5時半～9時20分 (17:20 学習センター集合、 17:30 出発 20:30 浄土平発 21:20 学習センター着予定)	星空観察 天体望遠鏡で夏の夜空を観察して、宇宙や星空の話をお聞かせします。 親子できれいな星空をながめてみましょう。 講師：福島天文同好会 会長 佐藤 光 先生 福島天文同好会 佐藤 正行 先生	浄土平 (雨天時は中央学習 センター2階ホール 午後6時～7時半)

- ◇参加費：親子ともに「I」は1人200円、「II」は1人100円
- ◇申込：7月3日(月) 午前9時～7月10日(月)正午まで、中央学習センター窓口で受け付けます。参加費を添えてお申し込みください。
電話での申し込みは、7月5日(水)から受け付けます。☎534-6631
なお、7月4日(火)は休館日のため申し込みできません。
- ◇その他：申し込み後、都合でキャンセルする場合は、すぐにお電話ください。なお、準備の都合で、返金できない場合もあります。

ICT活用セミナー スマホ(携帯電話)をめぐるトラブルと対処方法 ～スマホで被害に遭わないために～

- 日時 8月2日(水)
- 時間 午後2時～3時30分(終了予定)
- 場所 中央学習センター 2階ホール
- 内容 スマートフォン(携帯電話)をめぐる様々な問題
(架空請求メール・フィッシング詐欺・ネット詐欺・その他の問題事案等)と対処方法・他
- 対象者 中央地区在住・在勤の一般成人の方
- 定員 20名(先着順)
- 講師 福島県金融広報委員会金融広報アドバイザー
元福島県消費生活センター相談員 田崎 由子 先生
- 参加費 無料
- 準備物 筆記用具等
- 申込み 7月5日(水)から7月26日(水)までの間に、掲載のQRコードよりオンライン、または中央学習センター窓口・電話でお申し込みください。
※窓口・電話受付時間
午前9時～午後5時45分
休館日(火曜日・祝日)を除く



[申込QRコード]

シニア向けスマートフォン利活用支援講座

スマートフォンの便利さや楽しさを学ぶ講座のほか日常生活に役立つスマートフォンの活用について学ぶ講座を開催します。サポーターがきめ細かくサポートしますので、お気軽にご参加ください。

		日時	講座内容
①	スマホ活用講座	7月24日(月) 13:30～15:00	LINEの基本操作(友だち登録、メッセージの送り方、位置情報の共有、グループ作成方法など)
②	入門体験講座	8月7日(月) 13:30～15:00	スマートフォンの基本操作(画面操作や文字入力の方法など)

※全員同じ貸出機を使ってお申し込みとなります。
※申し込み期限は開催日の3日前までとなります。

- 場所 中央学習センター 2階 第1講義室
- 講師 ソフトバンクスマホアドバイザー
- 定員 各回10名(先着順)
- 対象 ①市内居住の高齢者の方でスマホの基本操作ができる方
②市内居住の高齢者の方でスマホの使い方に不慣れな方
- 申込み オンライン(右記QRより)又は
コールセンター
090-1373-1667、
090-1373-1668へ電話



[HP QRコード]

学びの轍 ～つどい・まなび・むすび・いかす、中央学習センターを未来へ～

福島市における生涯学習の系譜

公民館活動が充実のときを迎える中、昭和30年代の高度成長期によってなされた急激な技術革新は、人々の生活水準の向上だけでなく、人口の都市集中、核家族化の進行といった急激な社会構造の変化をもたらし、世代間、地域連帯感の断絶などといった様々な社会問題が発生するひとつの要因となりました。また、平均寿命の伸長や高学歴化に伴い、人々の学習要求が高度化・多様化した結果、学校教育だけでなく社会の様々な教育・学習の機会を通じて変化に適切に対応していくことが教育分野において求められる結果となりました。

こうした中、日本をはじめ各国の生涯学習に大きな影響を与えたのは、ユネスコ(UNESCO)のポール・ラングラン氏が1965年(昭和40年)に提唱した生涯学習・生涯教育の概念です。日本では1971年(昭和46年)に提出された中央教育審議会の答申で注目され、1990年(平成2年)「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律(生涯学習振興法)」が制定されることとなります。日本における生涯学習の定義は、「人々が自己の充実・啓発や生活の向上のために、自発的意思に基づいて行うことを基本とし、必要に応じて自己に適した手段・方法を自ら選んで、生涯を通じて行う学習」をいいます(昭和56年中央教育審議会答申「生涯教育について」より)。こうした動きを受け福島市では、1992年(平成4年)に生涯学習推進本部及び生涯学習を進める市民会議が設置され、1993年(平成5年)に生涯学習推進基本構想が策定されました。市と市民が協働で生涯学習を進めていく体制が確立されたのです。

新館トピックス

- ・1, 2階は市民交流機能として大ホールや小ホール、講義室などを整備
- ・3階は、市民兼用会議室として休日や夜間は市民の皆様が利用可能

